

第 69 回講演会<2022 年 12 月 14 日開催>

ウィズ・コロナ時代の成田山

石井 照恩 (執筆=木村昌人)

■ 講演者……石井 照恩

(大本山成田山新勝寺 教宣課 課長)

■ 司 会……木村 昌人 (関西大学客員教授、
本学国際コミュニケーション学科非常勤講師)

石井 照恩 (いしい しょうおん) 師の略歴

1959 年 3 月 9 日 群馬県高崎市生まれ

1971 年 4 月 新勝寺入寺

1981 年 3 月

大正大学仏教学部仏教学科真言宗 (智山)
コース卒業

2014 年 5 月 中僧正 補命

2015 年 6 月 全真言宗教誨師連盟理事
現職 大本山成田山新勝寺教宣課課長

開会のあいさつ：高杉忠明 (本学グローバル・ コミュニケーション研究所所長)

本講演シリーズは、グローバルな視野に立っ
て、本学が所在する千葉県の産業と文化の現状
とその将来について日々ユニークな取り組み



石井照恩師

を行っている企業家、文化人などから直接話
を聞くことにより、本学学生の地元への理解
を深めさせるとともにグローバル時代の生き
方について考えさせることを目的としている。

今回は、平安時代から不動尊信仰の一大中
心地として知られる真言宗智山派の仏教寺院
である成田山新勝寺の石井照恩師にご講演を
いただく。グローバル社会の構造を根底から
変え、人々の物心両面に大きな影響を与えて
いるコロナと共存していくために、新勝寺は
どのような活動を行っているのか。

【講演要旨】

成田山新勝寺になぜ人は集まるのか

成田山新勝寺は江戸時代から庶民の間で人
気を博し、現在も初詣客数は 309 万人と全国
一位の寺院として有名である。また有名人に
よる豆まきや歌舞伎界のスーパースター市川
團十郎 (成田屋) と深い縁がある。多くの人
を引き付ける成田山の魅力を、2018 年に放送
された NHK テレビのブラタモリ新春スペシャ
ルの録画から学ぶ。新勝寺の参道の地形が御
利益を感じさせる心理的要因や、国鉄 (現在
の JR 東日本) と京成電鉄との競争がもたらし
た成田山へのアクセスの良さなどがわかる。

新勝寺の教えと社会事業

新勝寺では子供の時から入寺し、得度 (と
くど) を受けた人でないと僧侶になることは
できない。真言宗の教えの基本は、六波羅蜜(六
度)で、一布施、二持戒、三忍辱、四精進、五禪定、
六智慧である。つまり不動尊へのお願いでは
なく祈りである。この世に生まれたことに感

謝し、二度とない人生を一日一日大切にしながら過ごすことが肝要だ。新勝寺はこの教えに基づき、日本各地と海外で教育事業への支援、災害支援をはじめ、様々な社会事業を行っている。

〈質疑応答〉

質問：キリスト教を信仰していますが、成田山にお参りすることはできるか。

石井師：仏教は、来るもの拒まずという考えなので、誰でもお参りすることができる。

質問：宗教と幸福との関係について、どのように考えたらよいか。

石井師：仏教では自分を高めることにより、煩惱を解決すれば幸福になると考える。